

経営改革の推進による社会的インパクトの創出

◆ 取組①：国際求心力の強化

- ◆ **Tokyo College（2019年2月設立）**
→海外著名研究者等を招いてのシンポジウム・講演会等を、設立以来**80回以上**開催。
- ◆ **Tokyo Forum（2019年12月6-8日開催）**
→世界各国からの多様なオピニオンリーダーが一堂に会し、現代社会の課題解決・未来の地球と人類社会の在り方について議論。（韓国の学術振興財団 Chey Institute for Advanced Studiesより**100万米ドル**の支援）



Tokyo Forum 2019の様子。世界各国の多様なオピニオンリーダーによる活発な議論は、広く一般にも公開された。

海外著名研究者招聘数（人）

	H30年度	R3年度
KPI	4	100
実績値	9	146



◆ 取組②：SDGsを活用したFSIの取組の推進

- ◆ **FSI（Future Society Initiative：未来社会協創推進本部）**を通じた、国連機関・国際機関との研究教育面における連携強化
- ◆ **グローバル・コモンズ・センターの設立（2020年8月1日）** →世界および我が国が抱える課題解決に向けた取り組みを、より一層推進。



SDGsに貢献する研究教育活動を可視化するため、2017年より、学内プロジェクトの募集・登録・情報発信。
（SDGsの17目標の全てを網羅）

FSIに登録されるSDGs関連プロジェクト数（件）

	H30年度	R3年度
KPI	210	310
実績値	219	412

文部科学省卓越研究員および東京大学卓越研究員採用数（人）

	H30年度	R3年度
KPI	85	145
実績値	88	183

◆ 取組③：卓越した研究・学際融合研究のための基盤整備

- ◆ **若手研究者**が安定かつ自立して研究を推進するための基盤整備



若手雇用制度改革により、安定雇用を拡大し、2015年度以降、**423ポスト**を創出。

本補助金を活用し、経営改革は着実に進展。
KPIの進捗も順調。

経営改革により創出した社会的価値を可視化・情報発信。

社会的価値から得た社会的信頼を誘因とし、**資金循環モデル**も形成されつつある。

FSI基金を含む寄附金受入額（百万円）

	H30年度	R3年度
KPI	9,787	11,287
実績値	10,951	12,273

産学連携収入（百万円）

	H30年度	R3年度
KPI	9,938	11,504
実績値	10,822	18,217

経営基盤を強化するための体制整備

◇ 組織対組織の産学協創（大型共同研究）の推進

- ◆ **産学協創案件**とは、未来社会協創推進本部とともに社会課題の創出・解決、未来社会ビジョンの実現を連携（組織対組織）のもとに進めていく案件。
- ◆ 産学協創案件の決定は産学協創分科会による審議を経て、**未来社会協創推進本部（FSI）**が決定する。また、教職協働の組織として、産学協創推進本部があり、令和2年度には新たに担当事務組織として産学協創部を立ち上げ、本学の産学連携推進を強固に支える組織整備を行った。

➡ これらの取組により、**10年100億円単位の大型協創案件を複数実現**
 <実績> 日立、NEC、ダイキン、ソフトバンク、IBM、三井不動産、日本ペイントHD、住友林業、TCS

◇ 未来社会協創（FSI）基金の創設

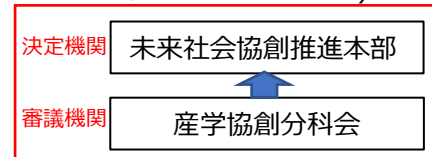
- ◆ 未来社会協創推進本部が主導する未来社会協創事業の取り組みを支え、その目標を実現するための基金として「**未来社会協創基金（FSI基金）**」を設立。累計寄付額は75億円。
- ◆ 未来社会協創基金を活用して、FSI事業を採択。資金の好循環サイクルを具現化するため、採択されたFSI事業は社会連携本部渉外活動部門のサポートのもと、寄付募集活動に参画し、事業規模の拡大を目指す体制を整えた。
- ◆ 資金の社会連携本部渉外活動部門には寄付獲得を目的として、高い専門性を持つファンドレイザーが活動している。

➡ これらの取組により、令和3年度の寄付受入額は120億円を超え、KPIを順調に達成している。

◇ 資金運用の高度化

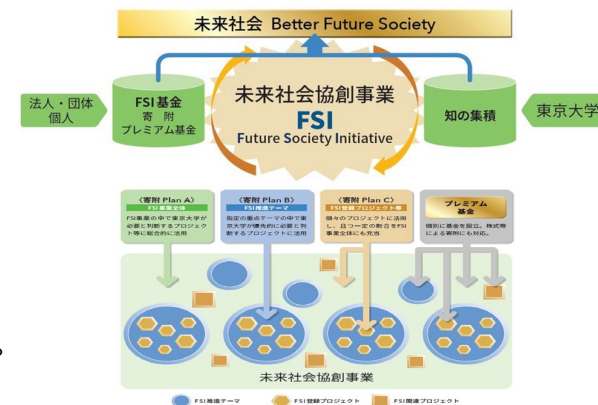
- ◆ 資金運用管理委員会のもと、平成30年度より東大基金分の基本ポートフォリオを策定し、学内資金の高度運用を開始した。
- ◆ 令和2年度は目的指定寄付金と満期保有目的債券等の償還分を合わせた47億円を債券パッシブファンドに再運用するなど、効率的な資金運用を行い引き続き低金利状態が続く厳しい経済情勢の中で、令和3年度の目標利回り率は4.27%を達成。KPIを上回る結果となった。

<実施体制>
 未来社会協創推進本部（FSI）



<支援組織>

教職協働	本部組織	産学協創推進本部
		社会連携本部
	事務組織	産学協創部
		社会連携部
		産学連携法務部

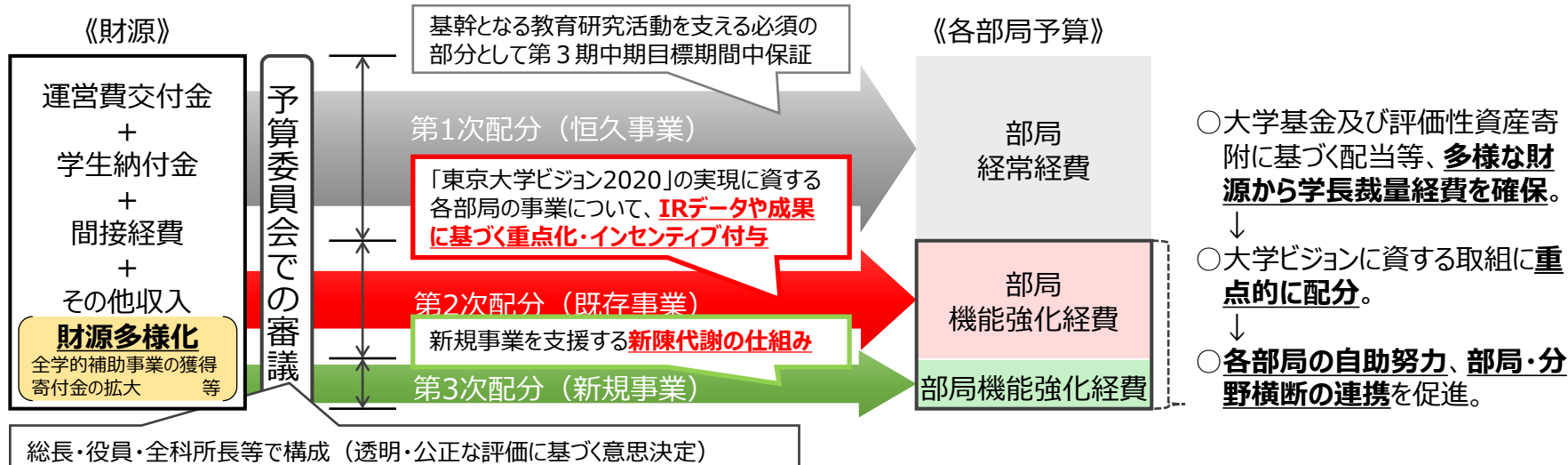


目標利回り率（%）

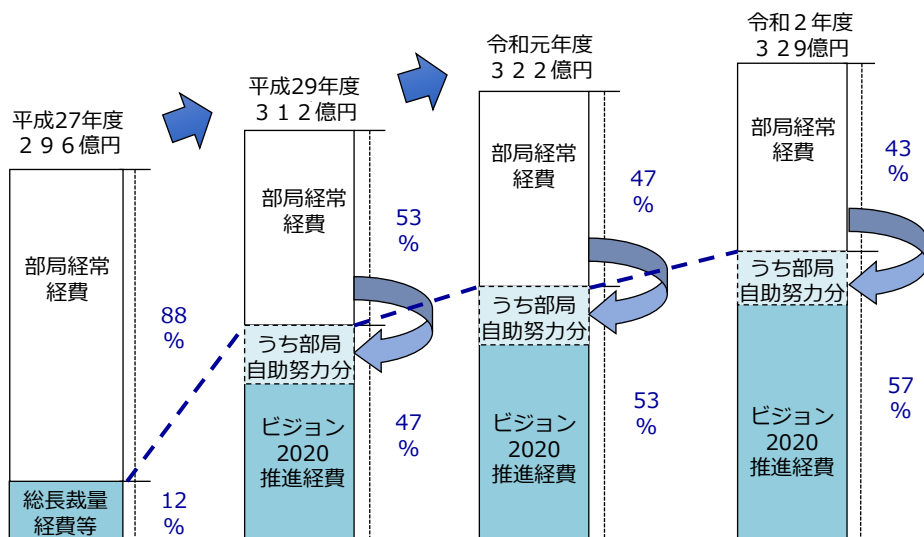
	H30年度	R3年度
KPI	0.9	3.5
実績値	1.9	4.27

IRに基づくビジョン・ドリブン型予算配分

◆ 学内予算配分システムの改革



◆ 総長イニシアチブによる配分



- 財源の多様化**により、**全体の予算規模を拡大。**
〔H27: 296億円 ⇒ R2: 329億円 (33億円増)〕
- 大学ビジョンに資する取組への重点配分により、**総長イニシアチブによる配分割合を拡大。**
〔配分額全体に占める割合の50%を超え (H27: 12% ⇒ R2: 57%)〕
- 史料情報と観測情報の組合せによる地震・火山研究等、**部局・分野横断の連携を促進。**
- 情報通信やA Iの発展に伴う**社会変革に対し、大学の強みを生かして機動的に貢献。**